

まちスポ飛騨高山 @岐阜県厚生連 久美愛厚生病院
「外国人のための防災教室」

まちスポでは飛騨地域で暮らす外国人の方のために日本語教師による日本語教育と、有事の際に身を守れるように防災士による防災教育を合わせた出前講座を行っています。第3回目は、高山市内にある総合病院で技能実習生として勤務している介護士の7名に受講いただきました。

日本語教育では、日本語での自己紹介から始まり、災害時に使われる用語などを聞き取り漢字で書く練習を実施。高山市で起こりうる災害は、「やさしい日本語」を用いて説明しました。防災教育では、災害が起こった時の身の守り方、その後の生活をはじめ、防災士と一緒にハザードマップで災害

時の避難経路や避難所を確認したほか、持出し用品や備蓄についても学びを深めていました。

有事の際に大切な命が守れるよう一緒に取り組んでくださる企業を募集しております。詳しくは、まちスポホームページをご覧ください。
<http://machispo.org/companywithbousai/>

この事業は令和5年岐阜県 孤独・孤立対策官民連携事業の助成を受け今年度無料で開催しております。



日 時: 2023年11月20日(月)
 協力企業: 岐阜県厚生連久美愛厚生病院
 受講者: 7名
 主 催: 認定NPO法人まちづくりスポット



まちスポとやま 富山国際学院 交流授業 **日本人と一緒にやってみよう**

富山市内の日本語学校・富山国際学院で日本語を学ぶ留学生に向けて、まちスポの活動と一緒に参加してもらった11月11日の総曲輪レガートスクエア文化祭の様子などをお伝えしてきました。ネパール、バングラデシュ、スリランカ、モンゴル、中国から来た14名の留学生のクラスです。紹介だけでなく、「日本人と一緒にやってみよう」を学生一人ひとりに日本語で聞いてみました。日本人の友達がほしいという気持ちや「日本料理をつくってみたい」「ハンカチおとしをみんなでしたい」「バーベキューをしたい」「一緒に山にのぼりたい」などたくさんのやってみようことが集まりました。

まちスポとやまでは人と人との交流をお手伝いしています。留学生の皆さんが日本人とたくさん交流できるように協力できればと思います。



日本人とやってみようこと 名前 [redacted]
 日本語の授業が楽しくて、おしゃべりが好きです。日本人に話して、作りたいとおもっています。日本の料理を食べるととてもおいしいです。ぜひお話しください。

日本人とやってみようこと 名前 [redacted]
 日本人と、一緒に山にのぼりたいです。山のうしろにあって、いろいろな草花が咲いているので、日本人から日本の花をもらってみたいと思っています。日本人は、おしゃべりが好きです。

日時: 11月30日(木) 場所: 富山国際学院 参加者: 留学生14名

窓 コーナー
 まちスポの
 つぶやき
 鍋が美味しい季節♡
 本間

今年も豆餅いっぱい
 食べたい♡
 ケルシー

紅葉も深まり冬到来
 寒さケアご注意!
 カスティエロ

最新の情報はこちら
ホームページ更新中
<http://machispo.org>

さるぼぼコイン
 クレジットでの
 賛助会員入会が
 可能になりました!
 詳しくは
 こちらを
 ご覧ください!

note ホームページのほか、noteやSNSも随時更新中。ぜひご覧ください

note ひだっち blog まちスポとやま

<https://note.com/20121101/> <https://www.hida-ch.com> <https://www.machispo-toyama.org>

活動を応援して下さる方を募集しています。

納入先
 郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりスポット
 高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりスポット



まちスポ飛騨高山
フレスポ飛騨高山「青空アート祭」11周年祭企画

フレスポ飛騨高山11周年祭 企画第4弾は「アート」をテーマに、見て、聴いて楽しめる催しを開催しました。今回も多くのおまじスポサポーターの皆さんが、企画づくり、会場準備・当日運営などで活躍いただき、来場者の皆さんに喜んでいただける催しになりました。

■ステージプログラム

読み聞かせや手遊び、バルーンアートなど親子で楽しめるプログラムだけでなく、弾き語りやアコースティック系ユニット、バンド演奏をする出演者もあり、老若男女が楽しめるステージをみんなでつくりました。

出演者 14組:オレンジベア→、おはなしネットことだま、NPO法人飛騨高山わらべうたの会、亜沙美、チーム清流ミナモ、アンサンブルN's、ナツコ、ひーひん×田中里空×めいこふ、コラソニアスル、遊鳥、森貴光、えるこ、清水秀樹、飛騨ゆるアコ部有志メンバー



■ワークショップ・体験会

アクセサリーづくりやドライフラワーアートなどのワークショップや、ボードゲームの体験会など、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施いただきました。



出店者 5団体:とりどりファーム、NPO法人さんしょうのかい-きららハウス、フォトマトペ高山、きみこニットサークルあさじろう、Glass Studio Halva

■青空ギャラリー

HIDA まちなかアートの企画メンバーと実施する初めての試みです。展示作品はすべて障がい福祉サービス事業所をご利用されている方々の作品を展示させていただきました。アートが人びとの暮らしを豊かにすることを信じ、個人の感性や表現に光をあてることで、多様性のある社会を実現に向けて、有志の方々とも今後取り組みを行っていききたいと思います。

出展者 25名:糸藤珠花、小林育夫、no name、小谷 保、吉川 大輔、ヒカル、まりあ、まり、熊崎元啓、ゆう、ゆきひろ、やすえ、里佳、たくま、24時間テレビTシャツ、ワンワン、kou-chan、どらちゃん、ユキヤコンコン、Hiro、小鳥遊、高山のドラエモン、高山のウルトラマン、アスナ、つきとほし、ヤマ君
 Special Thanks:社会福祉法人飛騨慈光会(高山山ゆり園、吉城山ゆり園)、NPO法人さんしょうの会 第2きらら、NPO法人はたらくねっと

※出演・出展・協力者名は順不同、敬称略

日 程:2023年11月11日(土)、12日(日) 両日10:00~16:00
 会 場: フレスポ飛騨高山
 来場者:837名(11日520名 12日317名)
 ※まちスポ飛騨高山エリアのみカウント

まちスポ飛騨高山 **特定技能実習生が教えるベトナムの魅力**
国際交流・多文化共生推進事業 **ベトナム文化交流会**

高山市内で特定技能実習生として働きながら暮らしているベトナム出身のトゥエンさんを講師に迎えベトナム文化交流会を開催しました。高山市在住6年目のトゥエンさんは、日本語で参加者にベトナムの気候・名所・食事生活などスライドを使って説明してくださいました。食文化の紹介では、初めて見る料理の数々に参加された方から「どんな味?」「食べてみたい!」という声があがりました。ベトナムの楽器の演奏や、参加されたベトナム出身の方からベトナム国歌斉唱が披露されたり、最後には「モッ・ハイ・バーン」の掛け声でベトナム語でのじゃんけん大会が行われるなど内容盛りだくさんの交流会となりました。参加された方からは「もっと話がしてみたい」「発展している街並みを紹介してもらい想像していた風景と違い驚いた」と感想をいただきました。



◀ベトナムの食事について紹介するトゥエンさん。

2024年1月14日にはベトナム料理教室を開催します!



▶ベトナムの楽器演奏やベトナム語でのじゃんけん大会も盛り上がりました

開催日: 2023年11月5日(日)13:30~15:00
 会場: 高山市総合福祉センター3F 参加者: 27名



1型糖尿病の子のための
絵本を描いた

いまい ゆうき
今井 雄基さん

我が子、全ての人が
前向きに生きることができ
きっかけを

皆さんは「1型糖尿病」という病気をご存じですか？今回はその病気について前向きに正しく理解してもらおうと娘さんのために絵本を作った下呂市出身で高山在住の保育士、介護福祉士の資格を持つ2児の父の今井さんにお話を伺いました。

私は何の病気なの？

異変に気付いたのは2023年の1月ごろ、小学1年生の娘さんの様子の変化でした。飲み物をよく飲むようになり、トイレに行く頻度が増えたことに違和感を持ち、成長期だからよく食べてよく飲むこともあるだろうけど念のためと病院を受診したところ「1型糖尿病」と診断されました。その当日に入院生活が始まり血糖値をコントロールするための検査と治療が始まりました。幸いにも病状の発見が早かったため娘さんには自覚症状がなく元気いっぱい、突然の入院にとっても戸惑い「私は何の病気なの？」と問いかけます。

どう伝えたら毎日を前向きに
生きることができるのだろう

今井さんは娘さんに説明するため自分でも正しく理解しようと、ネットなどで「1型糖尿病」について調べます。しかし、結果は「医学的に」「最悪の場合」など、負の感情をおおる情報ばかりだったそうです。病気の情報としては正しいのかもしれませんが、「いかに我が子に幸せに生きてほしいか」という子を持つ親の思いとしては、マイナスな情報を今、伝えることが明日、明後日楽しく幸せに生きることにはならないと思ったそうです。

「1型糖尿病」はインスリン注射さえ打てば、いつも通りに生活できます。前向きに捉えることができ、小学生の子に分かり易

く伝えるために今井さんの見つけた方法は絵本で伝えるというものでした。

その絵本は子どもたち目線で描かれていて「何気ない日常を送ってほしい」とメッセージ性のある絵本でした。

娘さんに絵本を読み聞かせた反応は「分かった」と一言だったそうです。きっとこの一言は、「あまり重く受け止めず、いつもの生活を送ることができる」と前向きに捉えることができたからこそその反応だろうと感じます。

絵本を通して明るい未来へ

「厳しい病状や、医学用語を使った正確な情報は後でゆっくり教えていけばいい」と今井さんは言います。

「まずは明日、明後日を笑顔で過ごさせてあげたい」今井さんはこの体験から、目に見えない困りごとを抱えている方たちのために絵本を描いていきたいという夢を持っています。

困っている方のために手を貸したい、力になりたい、やさしく穏やかであり、かつ奥底には熱い思いを持っている今井さんの夢を応援していきたいです。

※1型糖尿病は、主に自己免疫によっておこる病気です。生活習慣病でも、先天的な病気でもありませんし、遺伝して同じ家系の中で何人も発病することもまれです。過去のウイルス感染がリンパ球の内乱のきっかけになっている場合が多いのですが、自己免疫の病気で感染症ではありませんので、1型糖尿病が他人にうつることはありません。(出典：認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワークHPより)

Information

今井さんの描いた絵本

げんきパワーのおはなし
「とう」と「インスリン」のぼうけん

■「すいぞうくん」や「ちゅうしゃマン」など親しみあるキャラクターが登場する物語。小学生にもわかりやすい内容で、教材として取り上げられています。
※お問い合わせは今井さん(TEL090-5859-3976)まで。



総曲輪レガートスクエア文化祭2023
～みんなでつながる一日～

総曲輪レガートスクエア官民連携事業
富山市社会福祉協議会助成事業

毎年秋になると、総曲輪レガートスクエア協議会の各施設やまちなかサロン登録団体が一体となり、多世代が楽しめる文化祭を開催しています。今年は、青池学園による「青学祭」と同日開催し、イベントや模擬店等に相互に参加してにぎわいを共有したほか、社会福祉協議会助成事業、富山市福祉政策課主催事業とも共同開催しました。あいにくの天候にもかかわらず、屋外に設置されたこたつには子どもたちが集まり、おばあちゃんと学生と一緒に



こたつで多世代交流



青池学園の模擬店が大にぎわい



富山市医師会看護専門学校による血圧測定



まちなかサロンでの演奏会



旧総曲輪小体育館では、富山国際学院の留学生と青池学園の学生が協力して避難所の段ボールベッド作りを体験



日時：2023年11月11日(土)10:00～15:30
会場：総曲輪レガートスクエア一帯
来場者：4,083名(のべ)

パルではポリ袋で作る防災食を来場者に案内。「おいしいご飯ありまーす」と元気にPR

まちスポ飛騨高山 第22回|スキマ|研究会
車椅子ユーザーのお出かけ事情



第22回のスキマ研究会は「車椅子ユーザーの観光客が高山を存分に楽しめるような散策マップをつくりたい!」という声から企画されました。まずは自分たちで体感しようと車椅子で高山の街を散策し、参加者から気づいたことや困ったことを共有してもらいました。そこから発展し、観光地飛騨高山での「モデルルート」を皆で考えてみました。「車椅子ユーザーの困りごとは、高齢者やベビーカーなど様々な状況の方に共通するもので、困りごとを発信することで理解者が少しずつ増えていき、よりインクルーシブで誰もが生きやすい社会につながっていくと思うので、発信を続けたい」と参加者の一人から感想をいただきました。

開催日：2023年11月15日(水) 10:00～12:00
場所：高山市総合福祉センター 参加者：14名



インクルーシブとは？

インクルーシブとは、日本語にすると「包み込むような／包摂的な」という意味。「ソーシャル・インクルージョン」(社会的包摂)という言葉から来ており、これは「あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合う」という社会政策の理念を表している。(出典:wikipedia)